

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年10月10日

岡山地方裁判所第3民事部

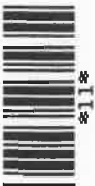
裁判所書記官 村 上 眞 基

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年11月 6日 午前 9時00分から 令和 7年11月13日 午後 4時30分まで
開札期日	日 時 令和 7年11月20日 午前10時00分 場 所 岡山地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7年12月11日 午前10時00分 場 所 岡山地方裁判所第3民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年10月10日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 7 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	13,339,000 10,671,200	一括	2,670,000	111,384	26,388
1	2,598,000				
2	2,000				
3	10,739,000				
			</		



物 件 目 録

1 所 在 倉敷市片島町字三反地
地 番 9 5 3 番 2 1
地 目 宅地
地 積 1 3 2 . 2 4 平方メートル

所有者 A

2 所 在 倉敷市片島町字三反地
地 番 9 5 3 番 1 4
地 目 雑種地
地 積 9 . 6 7 平方メートル

共有者 A 持分 1 6 分の 1

3 所 在 倉敷市片島町字三反地 9 5 3 番地 2 1
家屋 番号 9 5 3 番 2 1
種 類 居宅
構 造 軽量鉄骨造スレートぶき 2 階建
床 面 積 1 階 5 3 . 0 4 平方メートル
2 階 5 3 . 0 4 平方メートル

所有者 A



物 件 明 細 書

令和 7年 8月19日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 村 上 眞 基

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者及び共有者らが占有している。

【物件番号3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号2】

本件土地は共有持分についての売却であり、買受人は、当該物件を当然に使用収益できるとは限らない。

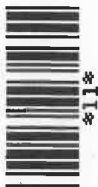
《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみが簡潔に記載されていますので、必ず、現況調



査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。

- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



物 件 目 録

1 所 在 倉敷市片島町字三反地
地 番 9 5 3 番 2 1
地 目 宅地
地 積 1 3 2 . 2 4 平方メートル

所有者 A

2 所 在 倉敷市片島町字三反地
地 番 9 5 3 番 1 4
地 目 雑種地
地 積 9 . 6 7 平方メートル

共有者 A 持分 1 6 分の 1

3 所 在 倉敷市片島町字三反地 9 5 3 番地 2 1
家屋 番号 9 5 3 番 2 1
種 類 居宅
構 造 軽量鉄骨造スレートぶき 2 階建
床 面 積 1 階 5 3 . 0 4 平方メートル
2 階 5 3 . 0 4 平方メートル

所有者 A



令和7年(ケ)第71号
令和7年7月11日受理
令和7年8月15日提出

現況調査報告書

岡山地方裁判所

執行官 谷 隆 之

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市片島町字三反地
地 番 9 5 3 番 2 1
地 目 宅地
地 積 1 3 2. 2 4 平方メートル

所有者 A

- 2 所 在 倉敷市片島町字三反地
地 番 9 5 3 番 1 4
地 目 雑種地
地 積 9. 6 7 平方メートル

共有者 A 持分 1 6 分の 1

- 3 所 在 倉敷市片島町字三反地 9 5 3 番地 2 1
家屋 番号 9 5 3 番 2 1
種 類 居宅
構 造 軽量鉄骨造スレートぶき 2 階建
床 面 積 1 階 5 3. 0 4 平方メートル
2 階 5 3. 0 4 平方メートル

所有者 A



不 動 産 の 表 示		「物件目録」のとおり			
住 居 表 示		(住居表示未実施)			
土 地		物件 1			
現 況 地 目	☒ 宅地（物件 1 ） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）				
形 状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐				
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり				
下 記 以 外 の 建 物 （ 目 的 外 建 物 ）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）				
そ の 他 の 事 項					
建 物		物件 3			
種 類 、 構 造 及 び 床 面 積 の 概 略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種 類： ☐ 構 造： ☐ 床面積：				
物 件 目 録 に な い 附 属 建 物	☒ ない ☐ ある 種 類： 構 造： 床面積：				
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物に動産を残置して占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり				
上 記 以 外 の 敷 地 （ 目 的 外 土 地 ）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）				
そ の 他 の 事 項					
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 保管開始日 平成 年 月 日				
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり				

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

(土地用)

[illegible]

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

(関係人の陳述等用)

関係人の陳述等

陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
■ 不動産業者	1 本件土地建物は、当社が鍵を預かって管理しています。
■ 近隣者	1 物件2土地は、ゴミステーションとして共有で使っています。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(4 枚目)

執行官の意見

- 1 本件建物の外観及び本件各土地の状況は、写真1ない3のとおりである。
- 2 本件建物内の状況は、写真4ないし17のとおりである。
- 3 債務者兼所有者に対して投函及び郵送により求陳述をするも現在まで回答はなく、現場の状況から本件建物は、いくらかの動産類が残置された空家状態であると認められる。
- 4 間取り
別紙建物間取図のとおり
- 5 接面道路
物件1土地西側が市道（片島町161号線）に接している（土地建物位置関係図参照）。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年 7月17日 (木) 14:10-14:35	物件所在地	物件確認、形状調査、写真撮影 求連絡書面投函
7年 7月17日 (木) : - :	当庁執行官室(郵便)	Aに対し求連絡書面郵送ㄨ切7/24 (切手代110円)
7年 7月25日 (金) 8:30- 9:00	岡山地方法務局倉敷支 局	公図閲覧、地積測量図、建物図面、登記事項要約書交 付申請
7年 7月25日 (金) : - :	当庁執行官室(郵便)	Aに対し立入調査期日通知 (切手代110円)
7年 7月25日 (金) 16:00-16:05	(当職携帯電話)	物件を管理する不動産業者より聴取(A不在の場合、 立入調査期日当日の鍵の借受依頼)
7年 8月 8日 (金) 14:25-15:25	物件所在地	評価人同行、立入調査、占有調査、形状調査、写真撮 影 近隣者より聴取
年 月 日 () : - :		

(特記事項)

☒ 令和7年8月8日
目的物件は不在であったので、立会人 B を立ち会わせたうえ、物件を管理する不動産業
者から借りた鍵で解錠して建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

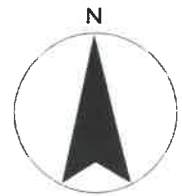
☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建
物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

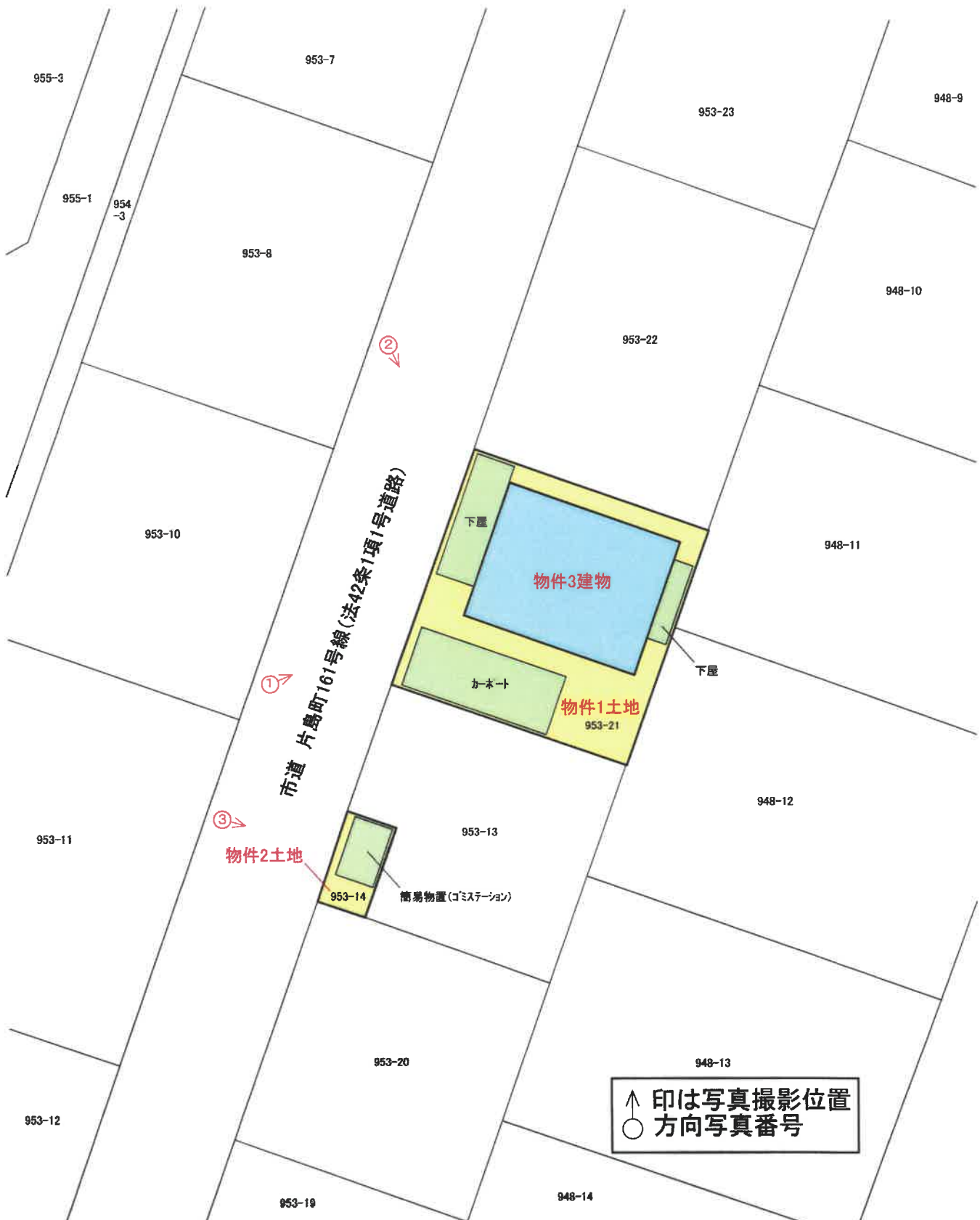
☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(6 枚目)

土地建物位置関係図

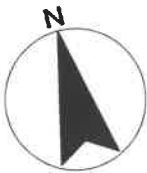


S≒1:250

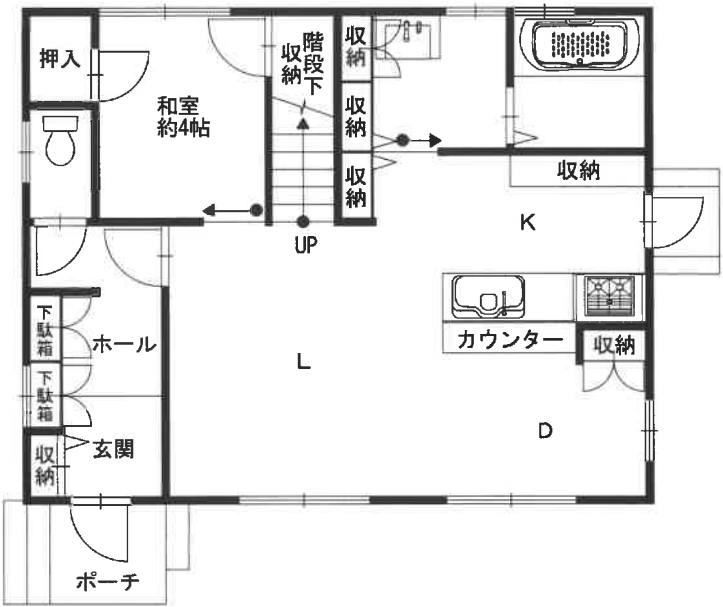


建物間取図

物件3建物



1階



2階

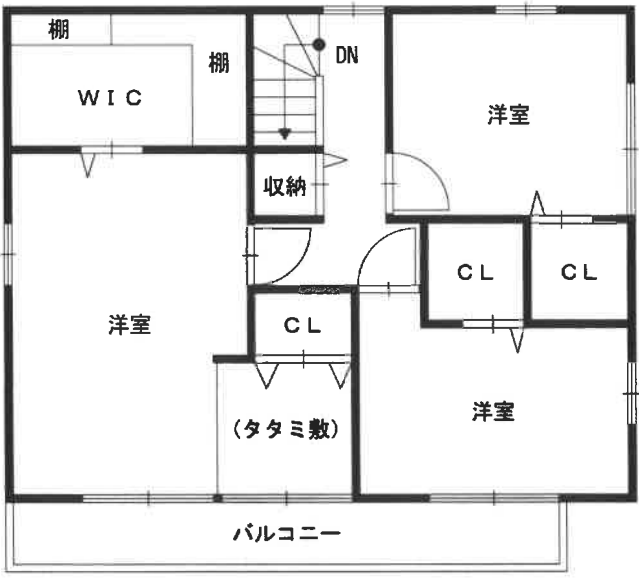


写真1 下屋 物件3建物 カーポート 物件1土地

市道



写真2 物件3建物 下屋 物件1土地 カーポート

市道



写真3 簡易物置（ゴミステーション） 物件2土地

市道

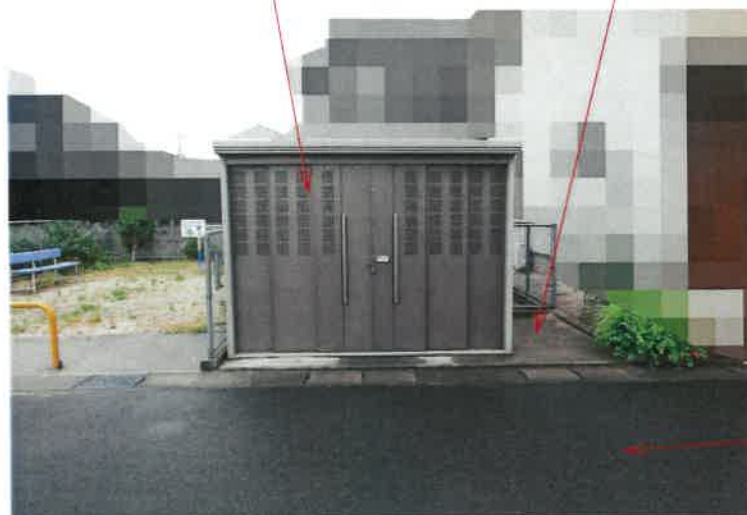


写真4 1階玄関



写真5 1階トイレ



写真6 1階洗面所



写真7 1階浴室



写真8 1階K



写真9 1階LD



写真 1 0 1 階和室約 4 帖



写真 1 1 2 階北東側洋室

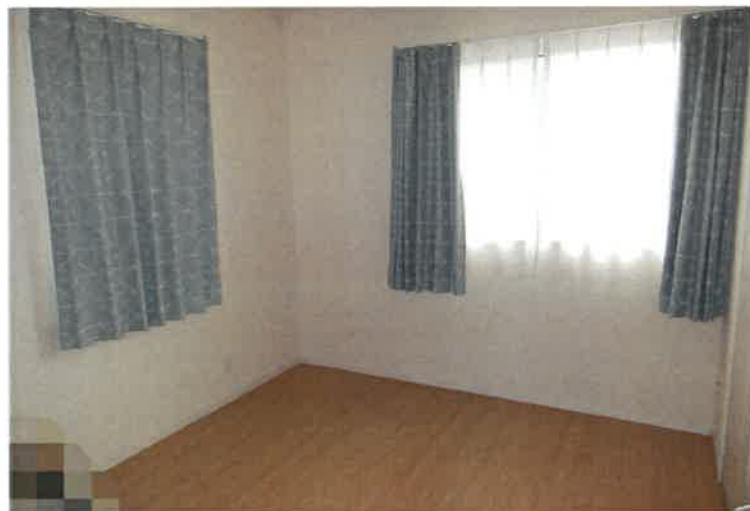


写真 1 2 2 階南東側洋室



写真13 2階西側洋室



写真14 2階（タタミ敷）



写真15 2階WIC



写真16 2階収納



写真17 2階バルコニー



評 第 25-297 号
令和 7 年 (ケ) 第 71 号
令和 7 年 8 月 8 日 現地調査
令和 7 年 8 月 15 日 評 価

岡山地方裁判所 第 3 民事部 御中

評 価 書

評価人 高見 康弘

第1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1～3)	土地 建物	金 13,339,000 円
内訳価格	1	土地	金 2,598,000 円
	2	土地 (持分16分の1)	金 2,000 円
	3	建物	金 10,739,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第 3 目的物件

物件 番号	種類	所在等	登記	現況
1	土地	所在地 番目積	倉敷市片島町字三反地 953番21 宅地 132.24 m ²	概ね同左
2	土地	所在地 番目積 評価対象	倉敷市片島町字三反地 953番14 雑種地 9.67 m ² 持分16分の1	概ね同左
3	建物	所在 家屋番号 種類 構造 床面積	倉敷市片島町字三反地953番地21 953番21 居宅 軽量鉄骨造スレートぶき 2 階建 1 階: 53.04 m ² 2 階: 53.04 m ² 延 : 106.08 m ²	概ね同左
物件 番号	特 記 事 項			
	特に無し。			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件 1 ）

位 置・交 通	水島臨海鉄道 西富井 駅 の 南西 方直線約 2,600 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	倉敷市西部「片島地区」の一郭、国道429号北側背後に位置する分譲住宅地域である。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 : 市街化区域 用途地域 : 準工業地域 建 ぺ い 率 : 60 % 容 積 率 : 200 % 防 火 規 制 : 無 その他の規制 : 屋外広告物第3種許可地域 大規模集客施設制限地区	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 132.24 m ² 間 口 : 約 11.5m 奥 行 : 約 11.5m 形 状 : 略正方形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位 : 北西側 幅 員 : 約 6 m 舗 装 : 有 種 類 : 市道（片島町161号線） 高低差 : 略等高 摘 要 : 法42条1項1号道路	
土地 の 利用状況 及び隣地の状況等	現況は物件3建物等が存する。 隣地は一般住宅等が立地している。	
供給 処理 施設	上 水 道 : 有 ガス配管 : 無 下 水 道 : 有	※供給処理施設における「有」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	特に無し。	

1 土地の概況及び利用状況等（物件 2 ）

位 置・交 通	水島臨海鉄道 西富井 駅 の 南西 方直線約 2,600 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	倉敷市西部「片島地区」の一郭、国道429号北側背後に位置する分譲住宅地域である。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別 的な規制を考慮しな い一般的な規制)	都市計画区分 : 市街化区域 用 途 地 域 : 準工業地域 建 ぺ い 率 : 60 % 容 積 率 : 200 % 防 火 規 制 : 無 その他の規制 : 屋外広告物第3種許可地域 大規模集客施設制限地区	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 9.67 m ² 間 口 : 約 4 m 奥 行 : 約 2.5m 形 状 : 略長方形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位 : 北西側 幅 員 : 約 6 m 舗 装 : 有 種 類 : 市道（片島町161号線） 高低差 : 略等高 摘 要 : 法42条1項1号道路	
土地 の 利用状況 及び隣地の状況等	現況はゴミステーション用の簡易物置が設置されている。 隣地は一般住宅等が立地している。	
供給 処理 施設	上 水 道 : 有 ガス配管 : 無 下 水 道 : 有	※供給処理施設における「有」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	特に無し。	

2 建物の概況及び利用状況等（物件 3 ）

区 分	主である建物
建築時期 及び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 : 平成27年3月頃 新築(登記上) 経 過 年 数 : 約10年 経済的残存耐用年数 : 約20年 増 改 築 時 期 : 無
仕 様	外 壁 : サイディング張り (洋室) (和室) 天 井 : クロス貼等 クロス貼等 内 壁 : クロス貼等 クロス貼等 床 : フローリング等 タタミ等 その他 : - -
建 物 の 品 等	上品等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 「現況調査報告書」のとおり
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	特になし。

第5 評価額算出の過程

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A 地域)

種 別 : 住宅地
 街路 幅員 : 約 6 m
 地 積 : 約 130 m²
 間口・奥行 : 約11m×約12m
 形 状 : 略正方形
 高 低 差 : 略等高
 接面 状況 : 中間画地

地域 符号	公示価格等 (円/㎡) ア	時点 修正 イ	標準化 補 正 ウ	地域 格差 エ	規準価格等 (円/㎡) オ	標準画地価格 (円/㎡) カ
	47,800	$\frac{102}{100}$	$\frac{100}{101}$	$\frac{100}{80}$	60,300	60,300
A	公示地 倉敷-9	公示価格 等の価格 時点から 評価日ま での推定 変動率で ある。	公示地等 の画地条 件を標準 的なもの に補正し た。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮の うえ査定し た。	オ：ア×イ×ウ× エ	規準価格等を参考に周 辺取引事例等を検討の うえ査定した。

ii 建付地等の価格

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分 割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価 補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
1	60,300	0.98	1.00	132.24	0.95	7,424,000
	A 地域	方位 0.98	-	登記数量	地域との適合性・敷地との適応性等を考慮のうえ査定した。	カ：ア×イ×ウ×エ×オ
		相乗積 0.98				
2	60,300	0.10	0.0625	9.67	-	4,000
	A 地域	単独利用困難性 0.10	共有持分 16分の1	同上	必要なし	同上
		相乗積 0.10				

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分 割合 イ	現況延 床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
3	253,000	1.00	106.08	0.43333	11,630,000
	建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した標準的な建築費に比準して求めた。	-	-	耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して査定した。	オ：ア×イ×ウ×エ

2 積算価格の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については土地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり積算価格を求めた。

① 底地価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	底地等割合				底地価格 (円) エ：ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
1	7,424,000	-	法定地上権	1.000	0.50	3,712,000
		計	-	1.000	-	3,712,000
2	4,000	-	無	1.000	1.00	4,000
		計	-	1.000	-	4,000

② 土地利用権等価格

物件番号		建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合				土地利用 権等価格 (円) エ：ア×イ×ウ
			細符号	土地利用権等	イ 面積割合	ウ 権利等割合	
3	1	7,424,000	-	法定地上権	1.000	0.50	3,712,000
			計	-	1.000	-	3,712,000

③ 土地利用権等付建物価格

物件 番号	建物自体の価格 (円) ア	土地利用権等価格 (円) イ	土地利用権等付建物価格 (円) ウ：ア＋イ
3	11,630,000	3,712,000	15,342,000

④ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件 番号	底地価格及び 土地利用権等 付 建物 価格 (円) ア	占有減 価修正 イ	市場性 修正率 ウ	競売市場 修 正 率 エ	その他 減 価 オ	積算価格 (円) カ
1	3,712,000	-	1.00	0.70	1.00	2,598,000
2	4,000	-	0.70	0.70	1.00	2,000
3	15,342,000	1.00	1.00	0.70	1.00	10,739,000
一括 (物件1～3)	19,058,000	-	-	-	-	13,339,000
	上記①②③参照。	必要なし	物件2については、評価対象が共有持分であることによる市場性の減退を考慮のうえ査定した。	不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ査定した。	必要なし	カ：ア×イ×ウ×エ×オ

Ⅱ 収益価格の試算

対象不動産の所在する地域における賃貸借の動向、対象不動産の用途及び個別性等から、対象不動産が賃貸借に供せられることは一般的でない。
従って、収益還元法を適用しなかった。

Ⅲ 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地域符号 : A
番号 : 倉敷-9
所在 : 倉敷市片島町字西前田675番7外
価格 : 47,800 円/㎡
位置 : 西阿知駅 約1.4km (道路距離)
価格時点 : 令和7年1月1日
地積 : 138 ㎡
供給処理施設 : 水道・ガス・下水
接面街路 : 南西4m私道
都市計画区分 : 市街化区域
用途指定等 : 1 住居 (60、200)
地域の概要 : 中小規模住宅が多い道路の連続性が劣る住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和 7 年度)

物件番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	5,040,327 円	-
2	土地	33,061 円	評価対象外の持分を含む全部の評価額
3	建物	7,116,046 円	-

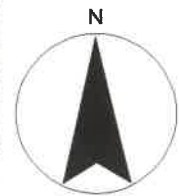
※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物図面写
- 4 土地建物位置関係図 (概略図)

以 上

位置図



S=1:10,000

対象不動産

岡山県南広域都市計画図(倉敷)

位置図



S=1:2,500

対象不動産

片島町三反地第2公園

片島喜助地公園

片島下志丁地公園

印刷山陽新聞
センター

岡山県南広域都市計画図(倉敷)

公図写



S=1/500



建物図面

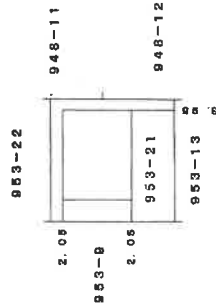
各階平面図

家屋番号 953番21

建物の所在 倉敷市片島町字三反地953番地21

物件3建物

1階, 2階 (各階同形階)



求積表

6.430 x 8.250 = 53.047500
床面積 53.04㎡

縮小図
約71%

作成者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(平成27年4月3日作成)

(岡山県土地家屋調査士会用紙)

土地建物位置関係図



S≒1:250



※本図に示す土地建物、道路等の範囲及び位置関係は概略であるので留意されたい。